

# 無印良品の

# 整理収納

家族みんなが

使いやすい

片づけやすい



「我が家の心地よさはシンプルな  
収納の仕組みにあります」

”人気整理収納  
アドバイザーの  
無印良品使いを  
大公開！”

  
マイナビ

整理収納アドバイザー  
梶ヶ谷陽子



# 無印良品の 整理収納

家族みんなが

使いやすい

片づけやすい

梶ヶ谷陽子

家が「心地よい」と感じる瞬間はどんなときでしょうか？

私は、家族が笑顔でいるときや、大好きなものが目に入ったとき、大好きなものを手に取ったときに「心地よい」と感じます。

家は家族が生活する大切な場所です。心地よく過ごすには、自分や家族にとって快適な空間や必要なものを考え、整えていくことが大切です。「ものを持たない」ことを徹底すれば、すっきりとした空間は保てるかもしれません。しかし家族が「生活」をするためには、やはり必要なものがたくさんあります。そして、それが家のどこにどんな状態であるかが、心地よい暮らしのポイントになると思います。

限られた空間だからこそ、私はどんなものでもじっくり考えてから手に入れるようにしています。たとえペン一本でも、それは同じです。機能性や使い勝手、部屋との相性など、さまざまな視点から探して選び、心から気に入ったものだけを家族の一員として迎えています。

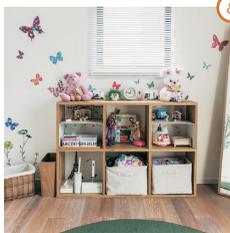
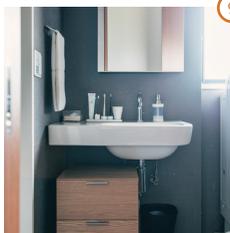
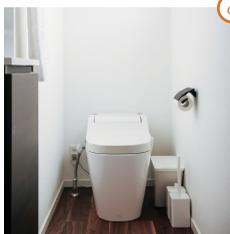
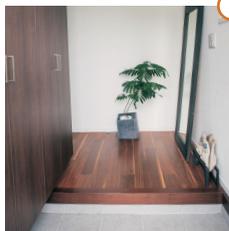
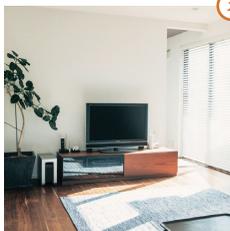
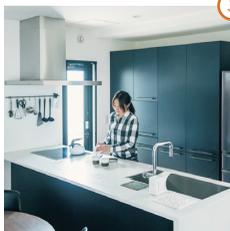
そんな我が家をよく見渡すと、いたるところに無印良品の収納アイテムがあります。意識して揃えたわけではなく、本当に納得できるものを選んで行き着くのが、いつも無印良品でした。素材が豊富で機能的、どんな部屋にも合わせやすく、身の回りのものと仲よく共存してくれるアイテムたちは、我が家の「心地よさ」をつくり出す大きな手助けになっています。

整理収納は、家の間取りや持ちもの、使う人によって、最適な場所や方法が違ってきます。その



家と使う人に合わせた収納づくりの可能性を広げてくれる無印良品の収納アイテムが私は大好きです。家の中のものがすべて無印良品というわけではありませんが、気づけばいつもたどり着く場所、いつもそこにいてくれる存在。それが私にとっての無印良品です。

# 梶ヶ谷家の間取り



Family data

家族構成 ・ 夫婦  
長女 (7歳)  
長男 (2歳)

住居形態 ・ 戸建て  
広さ ・ 115㎡  
築年数 ・ 4年  
間取り ・ 3LDK

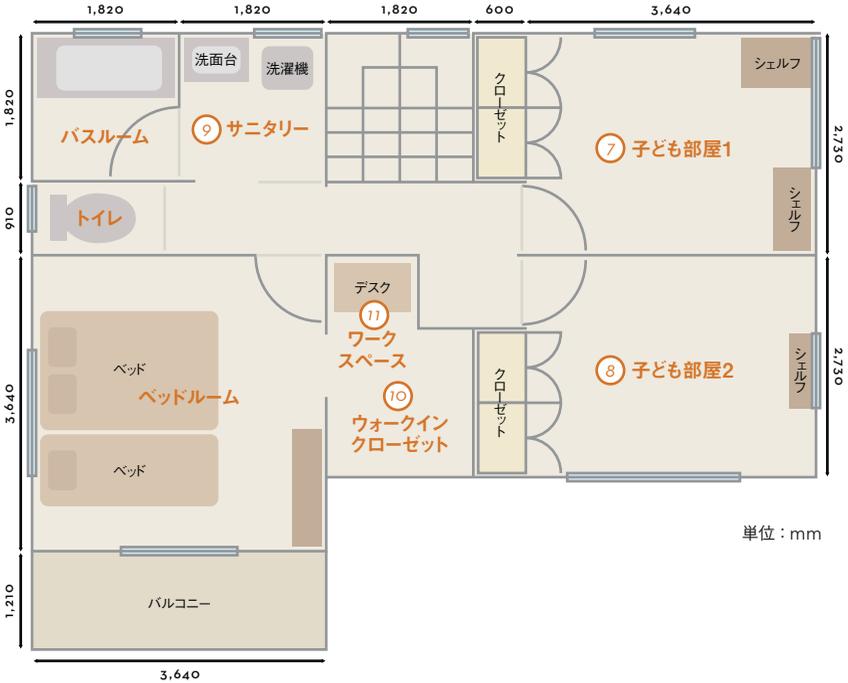


家を作る時、一番こだわったのは1階の間取りでした。子どもが成長しても家族が集まる場所だからです。どこにいても家族の存在を感じられるようにオープンキッチンにした1階は、一番お気に入りの空間です。

# 1F



# 2F



単位：mm

# Part 1

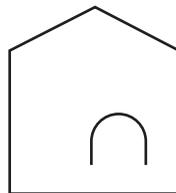
40	36	32	28	24	16
子ども部屋 2	子ども部屋 1	階段下収納	和室	リビング	キッチン

14

## 梶ヶ谷家の無印良品収納術

08	04	02
整理収納の基本	梶ヶ谷家の間取り	はじめに

目



次

# Part 3

96	94	92	90	88	86	84	80	76	72
ポリプロピレンデスク内整理トレー	EVA クリアケース	アクリル仕切りスタンド	ポリプロピレン整理ボックス	ポリプロピレンファイルボックス	ポリエステル綿麻混・ソフトボックス	高さが変えられる不織布仕切りケース	ポリプロピレンケース・引出式	重なるラタンバスケット	ポリプロピレンメイクボックス

70

## 無印良品の収納ベストアイテム

## Part 2

51 50 48 44

玄関  
トイレ  
サニタリー  
ウォークインクローゼット

54

### オープンシェルフの収納アイデア

66 64 58 56  
2 2 3 3  
段シェルフを和室で使う  
段シェルフを子ども部屋で使う  
段シェルフを仕切りとして使う  
段シェルフを壁付けで使う

## Column

122

整理収納で失敗しないためのヒント集

99

いつでもクリンな空間をキープできるちょい足し掃除

52

心地よい空間をキープする整理収納のルール  
つい増えてしまうものの見直しスケジュール

## Part 4

100

お宅訪問でお悩み解決！  
収納実例集

116 110 102

クローゼットの悩み  
キッチン・シンク下の悩み  
子どものおもちゃ収納の悩み  
おわりに

### 【商品のサイズ表示について】

ページ内に商品名とサイズを記載しています。  
サイズは幅×奥行き×高さで表示しています。

基本がわかると部屋が快適空間に変わる

## 整理収納の基本

全部出す



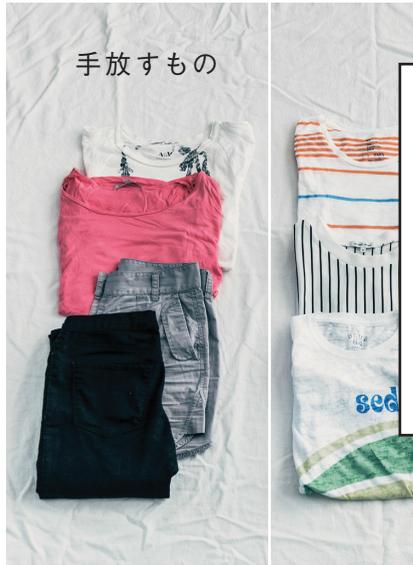
ものは自然に増えたり減ったりしません。必ず人間が関わり、増えています。まずはすべてのものを出し、今自分がどのくらいのものに囲まれて暮らしているのか知しましょう。

「ものの整理」をしてから  
収納をすることが大切

「整理収納」という言葉は、とても奥の深い言葉です。「整理」の後に「収納」がある言葉の並び通り、収納は整理の後でないといけないことができません。「ものであふれた空間をどうにかしたい」そう思ったときにしてしまうのが、収納家具や収納用品を増やすこと。しかし、それでは問題は解決しません。まずは今あるすべてのものと向き合って、今の生活に何が必要かを見極めていく、そして不要な取り除くという「整理」を行わなければいけません。整理を行なって、初めて「収納」に進むことができます。ですから「整理収納」という言葉なのです。

# 基本のステップ

## 1. ものを見直す



手放す基準はとても簡単です。思い出のもの以外はすべて「今使っているか、いないか」で判断します。いつか使うかも、高価だったなど、未来や過去を基準にしないこと。大切なのは「今」です。

## 2. 分類する



## 3. 収納する



収納の基本は「使う場所に、ものを出し入れしやすく収めること」です。どのような状態でものが収まっていればストレスなく出し入れがしやすいのかを考え、自分に合った収納方法を決めましょう。

使うときに「どんな分け方がしてあればラクか」を考えながらものの分類をします。衣類であれば着る人別に、さらにアイテム別に分類してあれば、コーディネートを決めるときにラクです。

## 7. ものを見直す



**ものとしっかり向き合って  
心も一緒に整理する**

整理収納でいちばん大切な作業が「整理」です。整理収納は、「整理が7割、収納が3割」と言ってもいいほど。今あるものと向き合う作業というのは、本当に時間がかかることですし、簡単なことはありません。しかし、「今あるものと向き合う」ということは、「今の自分と向き合う」作業でもあります。ものであふれた空間、それは必要なのか？今の自分に合うのか？しっかりと向き合うことで、ものの整理だけでなく、心も整理されていきます。本当に必要なものを把握することで、本当に必要な収納が見えてきます。

## 2. 分類する

### ◎使用頻度を基準にする

自宅にあるものはすべて「使用頻度」で分けることができます。毎日使う日用品のほか、おひな様やクリスマスマツリなどの季節用品、旅行用のスーツケースなど、一年に数回しか使わないものもあります。使用頻度で分類し、よく使うものほど出し入れしやすい場所に収納すると、効率よく毎日を過ごせます。ただし防災グッズや保険証など、緊急時に必要なものは、使用頻度の高いものに分類して。

### ◎使う場所、目的で分ける

分類をするときに「それは何をするためのものか」を考え、同じ目的のものを一緒にする方法があります。たとえば外出に必要なハンカチ、ティッシュと一緒に、郵便物に必要なハサミ、ガムテープ、ひもを一緒にまとめる分類法です。ほかには、「どこで使うものなのか」で分ける分類法もあります。同じものでも、それは誰が、どこで使っているのかを考えることはとても大切です。

### ◎不要品は手放す

整理を行なったときに、「使っている、使っていない」で判断するとわかっていても、新品同様の衣類や、壊れていない家電など、手放す気持ちにはならないものが出てきます。「捨てる」と思うと、手放せないのはアドバイザーの私も同じです。そんなときは、チャリティーやフリーマーケット、リサイクルショップなどを利用し、「必要とする人の元へものを旅立たせる手放し方」がおすすすめです。

## 迷ったときのチェックリスト /

ひとつでも当てはまる場合は手放すサイン。じっくりものと向き合ってみて。

### 服

- シーズン中一度も着ていない
- サイズが合わなくなった
- 今の自分に似合わなくなった

### 日用品

- ほとんど出番がなく、なくても困らない
- 必要以上にストックしている
- いつか使うかも……と思って残している